

NPO・行政協働事業助成事業 実績報告

団体名	大山捕獲隊	代表者名	西 牧 正 美
事業名	篠山地域連動型外来生物捕獲事業		
協働の相手方	(行政) 兵庫県森林動物研究センター・篠山市農都創造部農都整備課 (行政以外の団体) 篠山市大山上自治会 (部落農会を含む)・篠山市追入自治会・篠山市大山宮自治会・篠山市石住自治会・篠山市高倉自治会 兵庫県猟友会篠山支部		

事業実施実績

年 月 日	活 動 内 容
【通年の活動】 2013年7月5日 ~ 2014年3月末	1. 捕獲頭数26頭 (内、16頭は近隣自治会で捕獲)。通算 (三年間) で90頭のライグマを捕獲し、当該地区 (大山上付近) では、農業被害・生活被害共に「0」の状態を継続しています。 2. 協働体制も順調に機能して、森林動物研究センターからは管理・指導について。篠山市からは個体最終処理分の担当。篠山市猟友会からの後方支援についても、今後も永続的に協働体制を維持していただけることで了承をいただきました。
2013年8月11日	○ 拠点 (にしおホール) で、助成事業担当部局・研究センター・篠山市・篠山市猟友会・5自治会々長・捕獲隊々員。総勢24人の方々に参加をいただいて、「合同会議」を開催しました。活動事業内容の現状と説明、そして、今後の活動展開を説明し、参加の皆さんからもコメントをいただきました。
2013年8月25日	○ 森林動物研究センターの「センター開き」に“講師&指導”の依頼を受けて、新規作成の箱ワナを持参して、隊員3名と4人で参加。
2013年9月1日	1. 協働、5自治会の箱ワナ担当の各宅と区域周辺において、箱ワナ設置箇所の見つけ方やセットの仕方等、隊員総出で捕獲指導にあたる。 2. 在来動物との区別の仕方や、エサの付け方によって対象動物を限定するなど、知っていそうでいなかった話を受けていました。
2013年9月8日	○ 近隣5自治会協働捕獲実行会議。 5自治会の会長&捕獲担当者と隊員 (理事) が出席して、進めている「協働捕獲活動」に関して、地域における活動上で起きる問題点等の責任の所在と認識&対応の仕方等を協議しました。 2. 5自治会・180戸の世帯が今後捕獲活動に掛かることになりました。
2013年12月6日	○ 9/1に、地域に於いて捕獲指導をした現在の状況を確認し、成果の程度を検証すべく、捕獲指導を実施しました。錯誤捕獲やエサ盗りなど、思ったよりも捕獲が難航していること。地域毎に温度差が出て来ていることなど、今後の対応についても、貴重な意見や状況を聞くことが出来ました。

2014年1～3月	○ 近隣、5自治会で7頭の捕獲がありました。
-----------	------------------------

効果と成果

1. 何事もそうですが、「人任せ」にしてうまく行くということはありません。
2. 今まで、何かあったら「行政に言えばなんとかなる」という観点をちょっと変えて、「自分達でやったらどの程度まで出来る？」というところの住民目線で世間を見たら、いろいろと面白い展開があります。そして、何が足りないのかと云うところが見えたら、その分を行政と相談しながら完成形に向けて進める。と云うのがこれからの姿のようです。
3. アライグマの捕獲もそうでした。活動を始めるまでは経験も無く、いろいろと難しい様に感じていたことが、気の合う仲間と始めてみたら、「何とかなるのと違うか!?!」と云う感覚になってきました。
4. 「子育て」も、「高齢者の介護」も、みんなの街の「安心・安全」も、難しく考えると面倒くさくなりますが、まとめて見ると1点。
「いつも誰かが見（診・看・視）ているヨ」・・・これに尽きると思います。

収支決算書

(収 入)

項 目	金額 (円)
NPO・行政協働事業助成金	978,000
自己資金	82,087
合 計	1,060,087

(支 出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象金額 (円)
直 接 経 費	謝金	112,000	112,000
	旅費	50,142	50,142
	箱ワナ管理費等	82,475	82,475
	箱ワナ製作費等	345,600	345,600
	エサ代	7,800	7,800
	パンフ&資料作成費	168,280	168,280
	小 計	766,297	766,297
間接経費 (一般管理費)		293,790	293,790
合 計		1,060,087	1,060,087